	(19) Japan Patent Office (JP)		
	(11) Utility Model Laid-Open Publication No. S59-		
	(12) Gazette of Util	ity Model Laid-Open Publication (U)	
	(51) Int.Cl. ³ ID (Code Internal Reference No.	
5	G02 B 7/26	6418-2H	
	H01 L 27/1	4 6732-5F	
	31/0	2 7216-5F	
	H04 B 9/00	6538-5K	
	(43) Date of Laid-C	Open Publication: November 7, 1984	
10			
	Request for Examination: Not Requested		
	(Total pages)		
	(54) Title of Invent	ion: Optical fiber coupling photosensor	
15	(21) Utility Model Application No. S58-59666		
	(22) Filing Date: April 20, 1983		
	(72) Inventor: Masao HIRANO		
	c/o Omron	Tateisi Electronics Co	
	10, Tsuchid	o-Cho, Hanazono, Ukyo-Ku. Kyoto	
20			
	(72) Inventor: Motoaki TAKAOKA		
	c/o Omron	Tateisi Electronics Co	
	10, Tsuchid	o-Cho, Hanazono, Ukyo-Ku. Kyoto	

(71) Applicant: Omron Tateisi Electronics Co

25

10, Tsuchido-Cho, Hanazono, Ukyo-Ku. Kyoto

(74) Attorney: Kunihide NANBA, Patent Attorney and one other

Specification

- 1. Title of the Device
 - Optical fiber coupling photosensor
- 2. Claim of Utility Model
- (1) An optical fiber coupling photosensor comprising light-receiving elements that are produced by dividing mutually adjacent photoelectric conversion regions that are subdivided into a multiplicity into a plurality of groups and commonly coupling the photoelectric conversion region groups; optical fibers that are arranged to radiate light astride the optical photoelectric conversion regions of the plurality of groups, the light-projection end faces of which are made to face the photoelectric conversion regions; and an optical filter that is arranged facing the photoelectric conversion regions of at least one group of the

photoelectric conversion regions of the plurality of groups.

(19) 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

[®] 公開実用新案公報 (U)

昭59—166208

MInt. Cl.3 G 02 B 7/26 H 01 L 27/14 31/02 H 04 B 9/00

識別記号 厅内整理番号

6418-2H 6732-5F

7216-5F

6538-5K

發公開 昭和59年(1984)11月7日

審査請求 未請求

(全 頁)

砂光フアイバ結合用ホトセンサ

如実 昭58—59666

昭58(1983)4月20日

砂考 案 者 平野正夫

砂出

京都市右京区花園土堂町10番地

立石電機株式会社內

心考 案 者 高岡元章

京都市右京区花園土堂町10番地

立石電機株式会社內

⑪出 願 人 立石電機株式会社

京都市右京区花園土堂町10番地

砂代 理 人 弁理士 難波国英

外1名

FP03-0376 -DOWO-HP **'04**. 3.16

SEARCH REPORT



明細書

1. 考案の名称

光ファイバ結合用ホトセンサ

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 多数に細分割されかつ互いに隣接する光電変換領域を複数のグループに分けて共通結線をれた電変換領域を投光で設めて投資を投資を変換領域にまがつて光照射されるように配置された光ファムに配置はのうちの少なに置いた光がのが、もりのグループの光電変換領域に対向して配置に入っているとを集領したことを特徴とする光フィバ結合用ホトセンサ。

3 . 考案の詳細な説明

<考案の分野>

この考案は、光フアイバに伝送された異なる被 長帯域の光を検出する光ファイバ結合用ホトセン サに関するものである。

<従来技術とその問題点>

従来、たとえば光ファイバに多重化伝送された



異なる被長帯域の光を検出する場合には、複数の受光素子の表面上にそれぞれ異なる色フィルタや音がフィルタを設定し、これら各光フィルタに光ファイバの投光端面を対向させて光照射することにより、各受光素子からの光を検出するものが知られている。

このように、異なる波長帯域の光ごとに個別の受光素子を設定すると、光ファイバの光学系を分し、分波するための光ファイバコネクタを設ける必要があり、それだけ光ファイバ結合用ホトセンサが大型化するばかりでなく、このコネクタの部分における光結合損失が発生して受光効率が低下する欠点を有する。

そこでこれを改善するために、従来から知られている第1図のような受光案子1と光フアイバ2とを結合した光フアイバ結合用ホトセンサを案はすることが考えられる。この図において、1は実数の光電変換領域の上には光フィルタ4、5

利道

が設定されている。そして、上記各光電変換領域と、3の境界線Sの上に光軸COを有するように対向向8を対対電変換領域と、アイバ6のコア7の投光端面8を対対電変換領域2、光フアイバ6による光照射領域9が光電変換領域2、3に位置するように光照射すると、境界線Sに発電心したときに対するででは、その光出力が変化する欠点を有する。

また、光ファイバ結合用ホトセンサは異なる被長帯域によつても感度が異なるので、受光感度の循環を達成するために、複数の光電変換額域2、3における受光面積比についての配慮をする必要があるけれども、上配構成にしたがえば面積比が変化して、所望の感度を得ることが容易でない。

<考案の目的>

この考案は上記欠点を解消するためになされたもので、受光素子における複数の光電変換領域に

公開実用 昭和59一

166208

対して光ファイバの光軸が偏心しても、受光素子の光出力の変化がないばかりでなく、受光案子の感度補償が容易な光ファイバ結合用ホトセンサを提供することを目的とする。

<考案の構成と効果>

この考案による光ファイバ結合用ホトセンサは、多数に細分割されかつ互いに隣接する光電電換鏡を複数のグループに分けて共通結線を対力と、上記光電変換領域に投光端値を対向されて複数がループの光電変換領域のうちの少なとともれたガループの光電変換領域に対向して配置されたカープの光電変換領域に対向して配置されたカー

このように、複数の光電変換領域を多数に細分割されかつ互いに隣接する光電変換領域を複数のグループに分けて共通結線するとともに、光ファイバを複数グループの光電変換領域にまたがつて光照射するように配置したことにより、受光素子の複数の光電変換領域に対する光ファイバの光軸



が偏心しても、受光素子の光出力の変化がないばかりでなく、受光素子の感度補償が容易な光ファイバ結合用ホトセンサを提供することができる。

〈実施例の説明〉

1113

以下、この考案の一実施例を図面にしたがって 説明する。第3図はこの考案の実施例による光フ アイバ結合用ホトセンサの一例を示す断面図であ る。

図において、11は多数のたんざく状に細分割されかつ互いに降接する光電変換領域12a、間間3aを複数のグループに分けてクタッ歯結線して選出で、13を類別にて共通結線するで、14は光ファイズで、この光電変換領域12、13にコークを数グループの光電変換領域12、13にこので、光照射されるように配置されている。16は複数の光電変換領域12、13に対向して配置された光フィルタである。

公開実用 昭和59一

166208



第4図に示すように、光電変換領域12、13は多数に細分割されかつ互いに隣接する光電変換領域12a,13aを複数のグループに分けて共通結線するとともに、光ファイバ14による光照射領域19が複数グループの光電変換領域12、13により、受光薬子11の光電変換領域12、13に対する光ファイバ14の光軸C0が、正規では、出する光ファイバ14の光軸C0が、正規で変換領域12、13からの光出力ははとんど変化しない。

第5図はこの考案の他の例を示し、受光素子11の光電変換領域12、13は多数の矩形状に細分割されかつ互いに隣接する光電変換領域12。13 aを複数のグループに分けて共通結線するとともに、光ファイバ14の光照射領域19が彼数グループの光電変換領域12、13に対する光ででで、カバーするように配置したことに対する光でで、3に対する光でで、11の光電変換領域12、13に対する光でで、11の光電変換領域12、13に対する光でで、11の光電変換領域12、13に対する光でで、114の光軸が、正規の光軸位置C0からC

1に偏心しても、複数の光電変換領域12、13からの光出力はほんど変化しない。

また、光ファイバ結合用ホトセンサは異なる被 長 帯域の光によつても感度が異なるので、受換 嬢 恵 りん かん 複数 の光電変換 嬢 1 2、13における受光面積比についての配慮をする必要があるけれども、上記構成にしたが受が 値、複数の光電変換領域 1 2、13における受光面積比がほとんど変換 値 は 1 2、13における受光面積比がほとんど変化しないから、所望の感度を得ることが容易である。

上記実施例においては、2つの光電変換領域12、13を設けて異なる2波長の光を検出する場合について説明したけれども、2以上の光電変換領域を設けて異なる複数波長の光を検出するようにしてもよいことはいうまでもない。

また、複数の光電変換領域のうち、1つは波長選択フィルタを除去して、異なる波長の複合信号のモニタとしたり、十分に信号の強度比が大きい



場合には、信号強度の弱い方をフイルタによつて選択し、フイルタのない部分で検出する多重信号を強い信号として代表させてもよい。 さらに、被長選択フイルタは色フイルタであつても、干渉フィルタやシャーブカットフイルタであつてもよい。

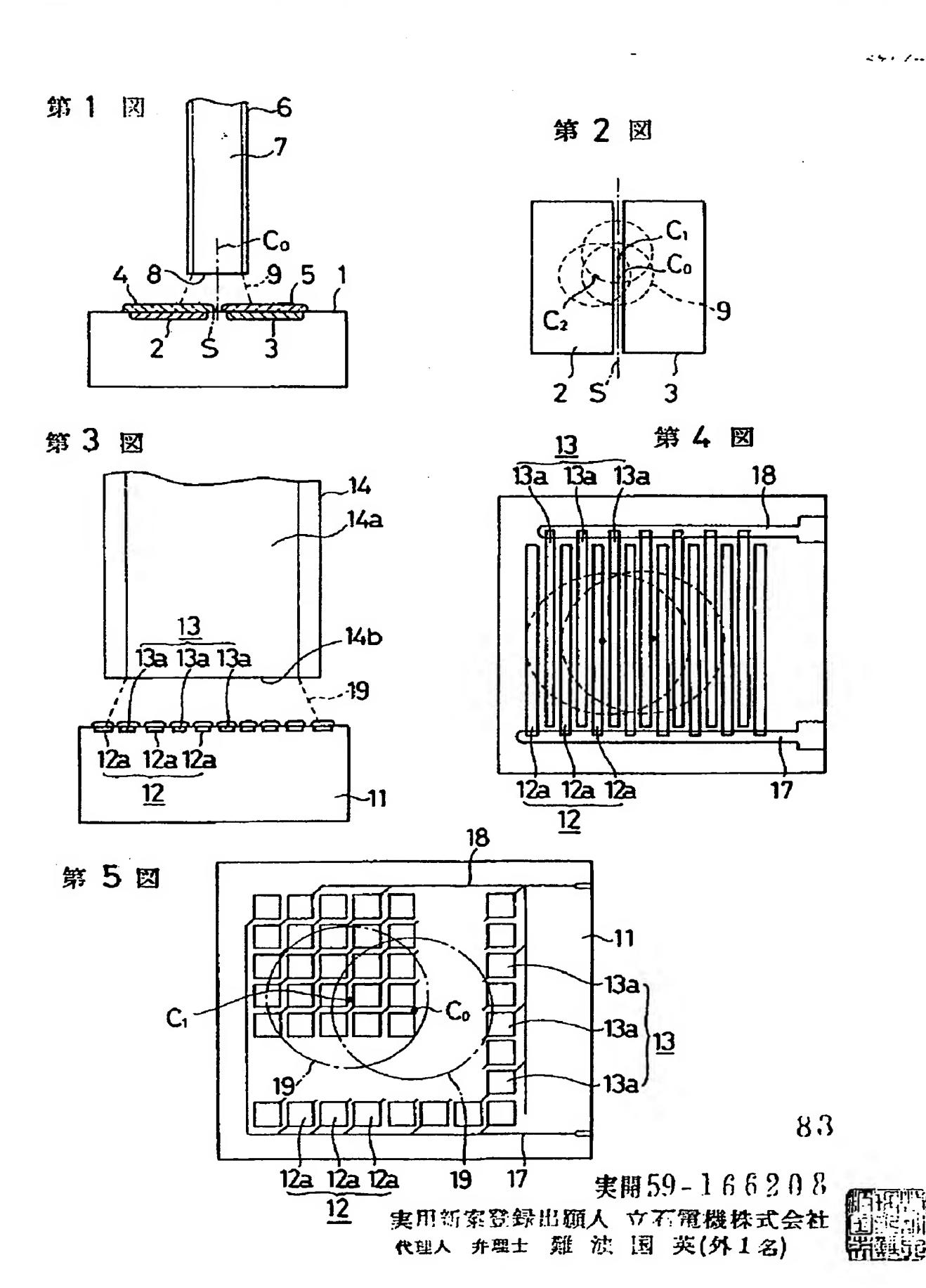
4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の光ファイバ結合用ホトセンサの一例を示す断面図、第2図は第1図のセンサの平面図、第3図はこの考案の実施例による光ファイバ結合用ホトセンサの一例を示す断面図、第4図は第3図のセンサの平面図、第5図はこの考案の他の実施例による光ファイバ結合用ホトセンサを示す平面図である。

11・・・受光素子、12a、13b・・・細分割光電変換領域、12、13・・光電変換領域、14・光フアイバ、15、16・・光フアイバ、15、16・・光ファイルタ、17・・光照射領域・

実用新案登録出願人 立石電機株式会社 代理人 弁理士 難波国英(外1名)





This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:		
BLACK BORDERS		
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES		
FADED TEXT OR DRAWING		
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING		
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES		
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS		
GRAY SCALE DOCUMENTS		
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT		
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY		
OTHER:		

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.